

2018 年度事業報告

■■ 目的 ■■

より多くのステイクホルダーとの関係づくりを図りながら、環境問題の解決に寄与するため、2020 年度に「日本環境 NPO 会議（仮称）」を開催する。2018 年度は、その会議開催に向けて、会員の声を集めながら、概要の決定や関係づくりに着手する。

■■ 実施事業 ■■

I. 政策提言事業

I-1. 2020 年度開催「日本環境 NPO 会議（仮称）」の検討

期 日：5 月 22 日（第 2 回日本環境 NPO ネットワーク会議内）及び理事会

目 的：より多くのステイクホルダーとの関係づくりをはかるため、2020 年度に開催予定の「日本環境 NPO 会議（仮称）」の内容について検討する

内 容：2020 年度に開催を予定する「日本環境 NPO 会議（仮称）」の開催に向け、5 月のネットワーク会議や理事会などを通じて、会議の開催概要を検討した。

4 月の第 1 回理事会で、会議の大枠を定め、その内容を 5 月に開催される第 2 回日本環境 NPO ネットワーク会議の席上で発表し、会員参加で概要を検討した。

対 象：理事会、全会員

担 当：理事、会員、事務局

I-2. 市民団体と行政の協働をテーマとしたアンケート調査の実施

期 日：2 月

目 的：政策提言の基礎となる行政との信頼関係の醸成のため、市民団体と行政の協働の現状や課題を把握する。

内 容：会員を対象に市民団体と行政の協働の現状や課題を把握するため、会員向けにアンケート調査を実施した。回答しやすさやまとめやすさを考慮し、Web によるアンケートを実施したところ 56 の回答があった。結果などはとりまとめて、平成 31 年度の第 3 回日本環境 NPO ネットワーク会議等で報告する。

対 象：会員

担 当：理事、事務局

II. 地域支援事業

II-1 「環境先進地に学ぶ-環境活動への提言」（海外研修成果発信プロジェクト）

期 日：通年

目 的：環境 NPO リーダー海外研修で得た最新の知見やそれを元に実践した国内事例など掲

載した冊子を発行し配布することで、特に若い環境活動の実践者を中心に、地域の環境活動の活性化に寄与する。

内 容：5月の日本環境 NPO ネットワーク会議の席上で、会員に対し新冊子発行について理事から説明し、17期以降の各期から編集委員を選定した。これまでの冊子の問題点などを洗い出すと共に、編集委員長を会員の大神弘太朗氏にお願いし、コンセプトのとりまとめたデザイナーとの調整などを行ってもらった。1月に開催した理事会で、大神氏から進捗状況の説明があった。

対 象：17期生以降の会員

担 当：編集委員（委員長／大神弘太朗氏、委員／南結香子氏、花城篤史氏、森翠氏）

II-2. 講師等派遣&環境プログラムの企画運営

期 日：通年

目 的：依頼に応じて、環境をテーマとしたセミナーへの講師等派遣や、環境学習や研修会等の各種プログラムの企画・運営を行い、地域の環境活動の活性化に寄与する。

内 容：今年度は依頼がなく、講師等の派遣は行わなかった。

II-3. パートナーの森づくり活動等への協力

期 日：通年

目 的：パートナーであるセブン-イレブン記念財団がすすめる「セブンの森づくり活動」等に協力し、パートナーとの連携を深める。

内 容：セブンの森づくり活動に関しては、候補地である長崎県で会員からの情報提供等を行った。また 9/1 に東京都四ツ谷で開催された助成金セミナーに、関東ブロック会員を中心に運営への協力を呼びかけ、会員及び外部サポーター、事務局の総勢6名で、受付や誘導の補助、会の PR、ブース出展などを行った。

担 当：関東ブロック会員他

（村田千尋氏、橋爪慶介氏、三浦正宏氏ほか外部サポーター+事務局）

III. 環境ネットワーク構築事業

III-1. 会員からの提案活動サポート制度

期 日：【募集】2018年6月4日～6月30日

【開催】2018年9月6日（木）

目 的：ブロック間や同期生等、会員間のネットワークを強化し、会員自らの発案による自主的な活動を促進する。

内 容：政策提言や地域支援に関して実施を希望する活動を会員から募集した結果、4件の応募があり、理事内で検討した結果、今年度は福園恵子氏と村田千尋氏から提案のあった「ケムシとウンコの環境教育講座」に決定した。本講座は 9/6 に東京都の練馬区立光が丘むらさき幼稚園で大人の部／子どもの部の2部制で開催され、大人の部では

園児の保護者と地域住民が約 60 名参加、また子どもの部は同幼稚園の他、近隣保育園 2 園の年長児約 100 名が参加。“サクラにつく嫌われ者であるケムシを好きになることが緑を守る第一歩”であることをテーマにした講演と体験会が行われた。

実施者：福園恵子氏（九州・沖縄ブロック会員）、村田千尋氏（関東ブロック会員）

Ⅲー 2. 第 2 回日本環境 NPO ネットワーク会議・総会開催

期 日：2018 年 5 月 25 日（金）～27 日（日）

目 的：①会としての方向性（ミッション&ビジョン）を再確認する。

②テーマ別でのディスカッションでは、メンバー間の交流を深めながら、各分野での今後の活動内容をより具体化する。

③琵琶湖流域の環境問題を知り、水資源の保全に関する先進的な活動事例を学ぶことで、リーダーとしての資質を高める。

④意見交換や共同での生活体験などを通じ、会員間の交流と一体感を醸成する。

場 所：滋賀県大津市、野洲市

内 容：会員の平山奈央子氏を中心に近畿ブロックメンバーがプログラムの企画・準備・運営を担当し、滋賀県の琵琶湖周辺で第 2 回日本環境 NPO ネットワーク会議&総会が開催された。1 日目は、ウォーターステーション琵琶湖に会員が参集し、琵琶湖の環境保全活動の概要を学び、2020 年度に開催する「日本環境 NPO 会議（仮称）」の内容について検討した。2 日目は、午前に琵琶湖で取り組まれている環境活動の現場を視察し、午後からはオープンセミナーを開催し、琵琶湖をはじめ日本各地で取り組まれている水辺を守る活動について学んだ。3 日目は、新冊子の検討、分科会毎の意見交換などを行い、最後に社員総会を開催した。

参 加：会員 28 名

担 当：近畿ブロックメンバー（平山奈央子氏、宮嶋啓太氏、松田直子氏、阪野真人氏）及び理事、事務局

【 管理運営 】

I. 理事会及びパートナーシップ会議の開催と運営

【理事会】

*第 1 回理事会及びパートナーシップ会議 2018 年 4 月 27 日に開催@東京都・四ツ谷
(参加/桃井理事、角屋理事、宮嶋理事、豊田理事、平山氏、事務局)

*第 2 回理事会及びパートナーシップ会議 2018 年 8 月 30 日に開催@東京都・四ツ谷
(参加/佐々木理事長、小城理事、村田理事、角屋理事、白川理事、事務局)

*第 3 回理事会及びパートナーシップ会議 2019 年 1 月 18 日に開催@東京都・四ツ谷
(参加/佐々木理事長、村田理事、白川理事、事務局)

【オンライン理事ミーティング】

*テレビ電話サービスを利用したオンライン上での会議を、3/30、5/17、7/5、翌2/18に年4回開催した。

II. 図書の販売&管理

- *「葦科川散策絵図」の販売&PRし、会計や販売状況の把握、在庫管理などを行い、20冊の売り上げがあった。
- *「海外研修成果発信冊子」の販売&PRし、会計や販売状況の把握、在庫管理などを行い、30冊の売り上げがあった。

III. 事務・会計

- *会員の個人データ管理と更新・名簿の作成
- *新入会員の入会案内送付と受付
- *ホームページ&ML運営
- *会員プロフィール集の更新、印刷
- *源泉徴収の納入手続き
- *確定申告書の作成と提出、納税
- *3か年計画の作成と提出
- *継続プロジェクト助成申請書の作成
- *登記変更についての相談と書類作成
- *事務ブースを借用する静岡市番町市民活動センターの利用者会議参加
- *月ごとのブース利用報告の作成と提出
- *パートナー及び関係者との連絡調整等 など